



私たちツチヨシ・マテックは、ものづくりの原点である素形材産業において、創業以来「技術指向型の専門集団」として、お客様に優れた価値を提供し続けて参りました。

私たちの強みは、商社と製造、2つの機能を有し、かつ研究開発にも取り組む多角的な事業形態にあります。


それにより社内には鑄造に関する様々なノウハウが蓄積され、我々の大きな資産として高いクオリティの創造につながっています。また、長年にわたり海外でも事業を展開してきた実績から、世界各地の鑄造に関するトレンドを常にキャッチアップ。そこで得た情報力を武器に、鑄造業界の多様な課題に対して、独自の提案と営業・技術・製造部門が一体となったトータルサポートを提供することがツチヨシ・マテックの真価です。

お客様本位の立場で、確かな満足をご提供すること。日進月歩に変化するものづくりの最前線で最適解をお届けすること。これらをめざしてきた結果、ツチヨシ・マテックは鑄造関連分野で国内トップシェアを走り続けています。

**前例にとらわれず、積極果敢に新しく創造する。**

**伝統を守りながらも、変化を恐れず革新に挑戦する。**

これらの価値観を社員全員が共有し、ツチヨシ・マテックはこれからも豊かな社会の構築に貢献することをお約束いたします。



一粒にやどる、  
ものづくりの魂。



生まれるカタチは無限に広がる。



SALES

## 鋳造業界のコンサルタント

営業部門では鋳造用の副資材や生産設備、検査機器などの機械装置の販売、自社工場で製造した中子の販売を行っております。ツチヨシ・マテックの営業は鋳造業界のコンサルタントとして、お客様に末永く貢献できる存在となるために、日本全国及び海外で事業展開を行ってきた経験から、幅広い情報の提供や、これまで培ってきたノウハウを活かした提案を行っております。



MANUFACTURE

## 高品質な製品提供と管理体制

製造部では、主にシェル造型法による鋳物用中子の製造を行っており、少量多品種から数万個規模の大量生産まで様々なご要望に対応しております。また、鋳物のプロフェッショナルが常に製造に携わり、最新設備の導入を行い自動化・省人化することで製造ラインを強化するとともに、高品質な製品の提供ができるような管理体制を取っております。



RESEARCH AND DEVELOPMENT

## 鋳造分野におけるトータルソリューション

2017年に開設したツチヨシ・マテックの研究開発室では、自社で製造した製品だけではなく、お客様が生産している製品の不良品の解析・検証も行っています。不良品を解析するだけでなく、不良が出る原因を探るため現場に赴いて検証することで、不良を減らし生産性を向上させるより効果的な改善策をご提案をさせていただきます。



OVERSEAS

## グローバルな資材調達と支援

ツチヨシ・マテックでは、海外事業に20年間携わってきた経験から、お客様のニーズに合った材料や生産設備などを世界各地から調達し、お客様に提供しております。タイには、当時のお客様が新たに生産拠点を設けると同時に進出いたしました。その後、多くのお客様が海外進出を検討されるようになり、今ではお客様が海外展開を行う際の支援までしております。



強みをつなぎ、  
未来をつむぐ。

ツチヨシ・マテックは、創業から70年近くたっておりますが、分社独立してからはまだ20年ほどの会社です。

創業時の1950年代は、日本でテレビ放送が開始され、トヨタが初めての純国産乗用車を発売した時期でした。ところが分社独立後のこの20年で、ハイブリッド車や電気自動車が生産され、テレビはデジタル放送に代わり、今ではスマートフォンであらゆることができる世の中になりました。この先、自動運転やAI技術の発展により、数十年先の世界がどう変わっていくのか、予測すら難しい状況です。

このように激変する環境の中で、会社が存続・発展していくためには、お客様に価値を提供し続けねばなりません。私たちの強みである技術力、広範な情報網、長きに渡って積み重ねてきた経験。これらの強みの一つ一つをつなぎ合わせることによって、お客様に優れた価値を提供する。これこそがツチヨシ・マテックの使命であり、これはこの先も不変のものです。

そして、この使命を果たすうえで最も力を発揮するのが、ツチヨシ・マテックの社員一人一人です。「社員の物心両面の幸福追求と会社の発展を通して社会に貢献する」という経営理念のもと、同じ価値観を共有しつつも異なる個性を持つ社員一人一人の強みをつなぎ合わせることで最大の力を発揮する。これがわれわれツチヨシ・マテックの本質です。

新しい感性を持って環境に変化していくからこそが、不変の使命や伝統を守ることになる。不易流行の考えをもって、会社の未来を社員と一緒に作って参ります。